

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、雇用・所得環境の改善を背景に、底堅く推移している。また、設備投資は、増加している。一方、公共投資や住宅投資は、高水準ながらも減少している。こうした中、生産は、緩やかに増加している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準ながらも減少している。

設備投資は、増加している。

12月短観（東北地区）における2018年度の設備投資をみると、製造業では、維持・更新投資に加え、需要増加を受けた能力増強投資がみられているほか、非製造業でも、新規出店や物流施設の新設等がみられており、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、底堅く推移している。

主要小売業販売額は堅調に推移している。内訳をみると、スーパーやコンビニエンスストアは横ばい圏内の動きとなっているほか、ドラッグストアは増加している。一方、百貨店は弱めの動きとなっている。耐久消費財をみると、家電販売額は持ち直している。また、乗用車販売は持ち直しの動きがみられる。

住宅投資は、高水準ながらも震災復興需要がピークアウトしているため減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、緩やかに増加している。

主要業種別にみると、輸送機械は、増加している。生産用機械等は、下げ止まっている。電子部品・デバイスは、弱含んでいる。この間、食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

5. 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人が前年を上回って推移しているものの、公金が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
